

第3次佐賀県健康プランの推進について



第3次佐賀県健康プランの概要

第3次佐賀県健康プラン 概要版

2024 (R6) ~ 2035 (R17)

佐賀県では、「県民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」を目指し、「第3次佐賀県健康プラン(佐賀県健康増進計画)」を策定しました。

本プランでは、「栄養・食生活」「身体活動・運動」「糖尿病」「がん」などの分野において、55項目の具体的な目標を設定し、県民の健康寿命の延伸に向けて、より実効性のある取組を推進しています。

また、乳幼児期から青壮年期、高齢期といったライフステージごとの健康づくりに加え、胎児期から高齢期に至るまでの生涯を通じた「ライフコースアプローチ」の視点を取り入れ、「健康寿命の延伸」や「健康格差の縮小」を目指しています。

佐賀県の健康課題と背景

佐賀県民の健康課題

健康寿命 健康寿命は延びているものの、平均寿命も同様に延びており、両者の差は縮まっていません。

メタリックシンドロームと肥満 メタリックシンドロームおよびその予備群の割合は増加傾向にあり、肥満(BMI25以上)の割合も男女ともに増えています。

糖尿病 佐賀県は全国でも糖尿病及び糖尿病予備群の割合が高い状況にあります。2020年には、糖尿病の割合が全国ワースト2位、糖尿病予備群が全国ワースト3位という結果でした。

背景にある生活習慣の課題

●野菜の摂取不足

1日あたりの野菜摂取量は約240gで、目標の350gに達していません。

●食塩の過剰摂取

食塩摂取量は1日あたり12.8gと減少傾向にはあるものの、生活習慣病予防の目安である7g未満には達していません。

●運動不足(歩数の減少)

1日あたりの平均歩数は約5,600歩で、年々減少傾向にあります。

健康寿命と日常生活に制限のある期間



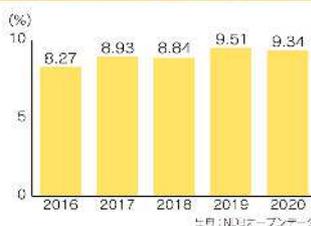
伸ばそう! 健康寿命 平均寿命と健康寿命の間には依然として大きな差があります。

メタボ該当者と予備群の割合



めざそう! 適正体重 20歳以上の約3人に1人がメタリックシンドロームまたはその予備群に該当しており、男女ともに増加傾向にあります。

糖尿病の疑いが強い者の割合



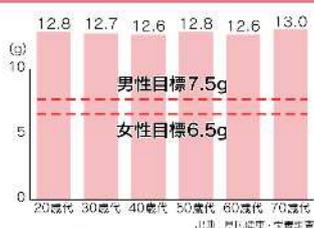
生活習慣改善で合併症予防 糖尿病の管理指標であるHbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)6.5%以上の人の割合は全国的に見ても高い水準が続いています。

野菜摂取量



いただきますは野菜から まずは+1皿 全年代で、目標とされる野菜摂取量(1日350g)に達していません。

食塩摂取量



おいしく減塩 全年代で、食塩摂取量が「日本人の食事摂取基準(2025年版)」の目標値を上回っています。

歩数



歩こう。佐賀県。+1,000歩 歩数は男女ともに横ばいから減少傾向にあり目標の7,000歩に対して約1,500歩不足しています。

モニタリング及び評価に関するスケジュール

第3次佐賀県健康プランの評価等スケジュール

第3次佐賀県健康プラン計画期間

年度	県	国
2022 R4	①県民健康意識調査（2020年実施） ②県調（BDHQ）※県民健康・栄養調査	健康日本21（第三次） 国プラン策定
2023 R5	★ ↓ 第3次佐賀県健康プラン策定（①②）	
2024 R6	県・国プラン開始	★ ③国調（大規模調査）※国民健康・栄養調査
2025 R7	国ベースライン値の活用（③）	★ ↓ 国ベースライン値把握（③）
2026 R8		
2027 R9	★ ④県民健康意識調査 ⑤県調（BDHQ）	
2028 R10		★ ⑥国調（大規模調査）
2029 R11	★ ↓ 県プラン中間評価・見直し（④⑤⑥）	★ ↓ 国プラン中間評価（⑥）
2030 R12		
2031 R13		
2032 R14	★ ⑦県民健康意識調査 ⑧県調（BDHQ）	★ ⑨国調（大規模調査）
2033 R15	★ ↓	★ ↓ 国プラン最終評価（⑨）
2034 R16	★ ↓ 県プラン最終評価（⑦⑧⑨）	国次期プラン策定
2035 R17	県次期プラン策定	
2036 R18	県・国	次期プラン開始

県民健康意識調査及び県民健康・栄養調査

【前回調査の概要】

	①県民健康意識調査	②県民健康・栄養調査 (BDHQ)
年度	2020年(令和2年)	2022年(令和4年)
時期	9月中旬～11月末	9月下旬～10月末
調査客体	成人(20歳～79歳)3,000人	成人(20歳～79歳)8,000人
対象者抽出	選挙人名簿に基づき層化無作為抽出	選挙人名簿に基づき層化無作為抽出 1市町あたり男女200人ずつ
協力率	1,375人(45.8%)	2,868人(35.9%)
調査方法	郵送により配布・回収	郵送により配布・回収

【2027年度(令和9年度)実施に向けて】

○健康プラン目標に対する中間評価のデータ収集するため調査を実施。

○県民健康意識調査 — 令和8年度に健康づくり専門部会を開催し、設問内容等について協議予定。

○県民健康・栄養調査 — BDHQは規定の設問により分析するため、内容は前回と同様。

※BDHQ(簡易型自記式食事歴法質問票)；約80の質問を通じて直近1ヶ月の食事内容を分析する方法

7

県民健康意識調査及び県民健康・栄養調査で把握する指標

基本的な方向性	第3次佐賀県健康プラン目標	データソース
2 個人の行動と健康状態の改善		
2-1 生活習慣の改善		
ア 栄養・食生活		
	②女性のやせ(BMI18.5未満)の割合の減少 20～39歳	県民健康意識調査
	③低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合 の増加の抑制	県民健康意識調査
	⑥野菜摂取量の増加	県民健康・栄養調査 (BDHQ)
	⑦果物摂取量の改善	県民健康・栄養調査 (BDHQ)
	⑧食塩摂取量の減少	県民健康・栄養調査 (BDHQ)
イ 身体活動・運動		
	③運動習慣者の割合の増加	県民健康意識調査
ウ 休養・睡眠		
	①睡眠による休養を十分にとれている者の割合の増加	県民健康意識調査
	②睡眠時間が十分に確保できている者の割合の増加	県民健康意識調査

8

県民健康意識調査及び県民健康・栄養調査で把握する指標

基本的な方向性	第3次佐賀県健康プラン目標	データソース
2 個人の行動と健康状態の改善		
2-1 生活習慣の改善		
エ 飲酒		
	①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少	県民健康意識調査
オ 喫煙		
	①20歳以上の者の喫煙率の減少 (喫煙をやめたい人がやめる)	県民健康意識調査
カ 歯科・口腔の健康		
	①20歳以上で過去1年間に歯科健診を受診した者の割合の増加	県民健康意識調査
2-2 生活習慣病(NCDs)の発症予防・重症化予防		
エ COPD		
	②COPDの認知度の向上	県民健康意識調査
2-3 生活機能の維持・向上		
	②ロコモティブシンドロームの認知度の向上	県民健康意識調査

9

県民健康意識調査及び県民健康・栄養調査で把握する指標

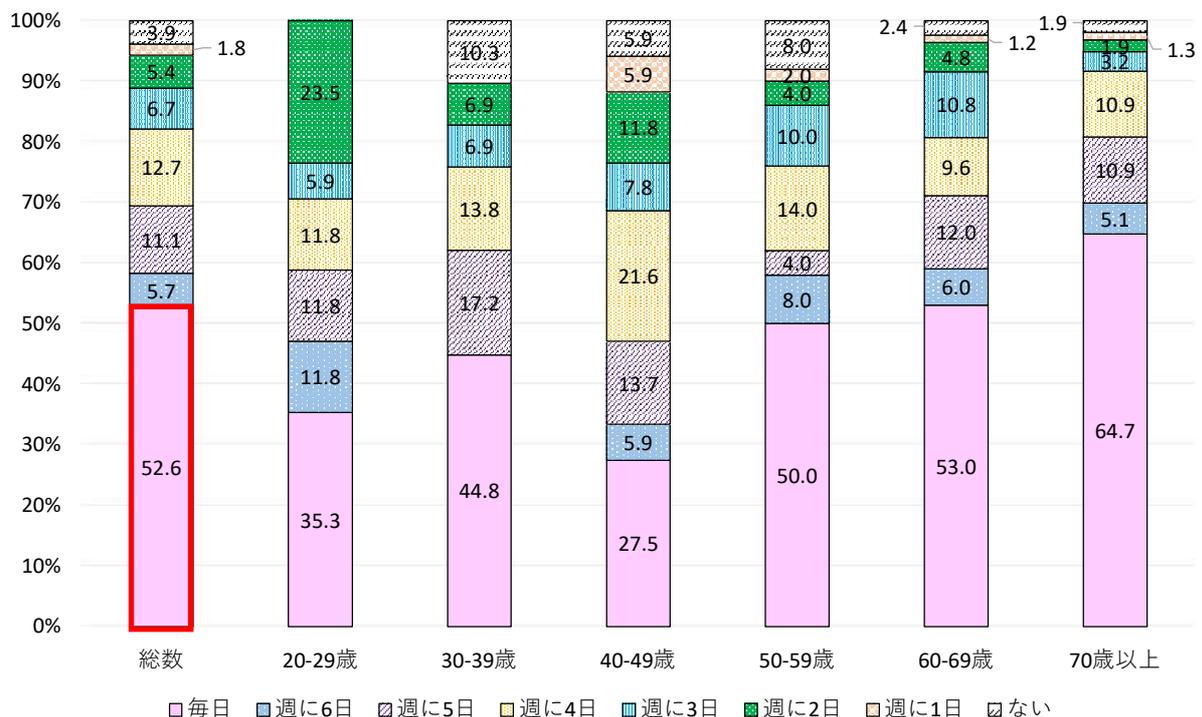
基本的な方向性	第3次佐賀県健康プラン目標	データソース
3 社会環境の質の向上		
3-1 社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上		
	①地域の人々とのつながりを感じている者の増加*	県民健康意識調査
	③共食している者の増加*	県民健康意識調査

10

令和6年国民健康・栄養調査結果による ベースライン値確定について

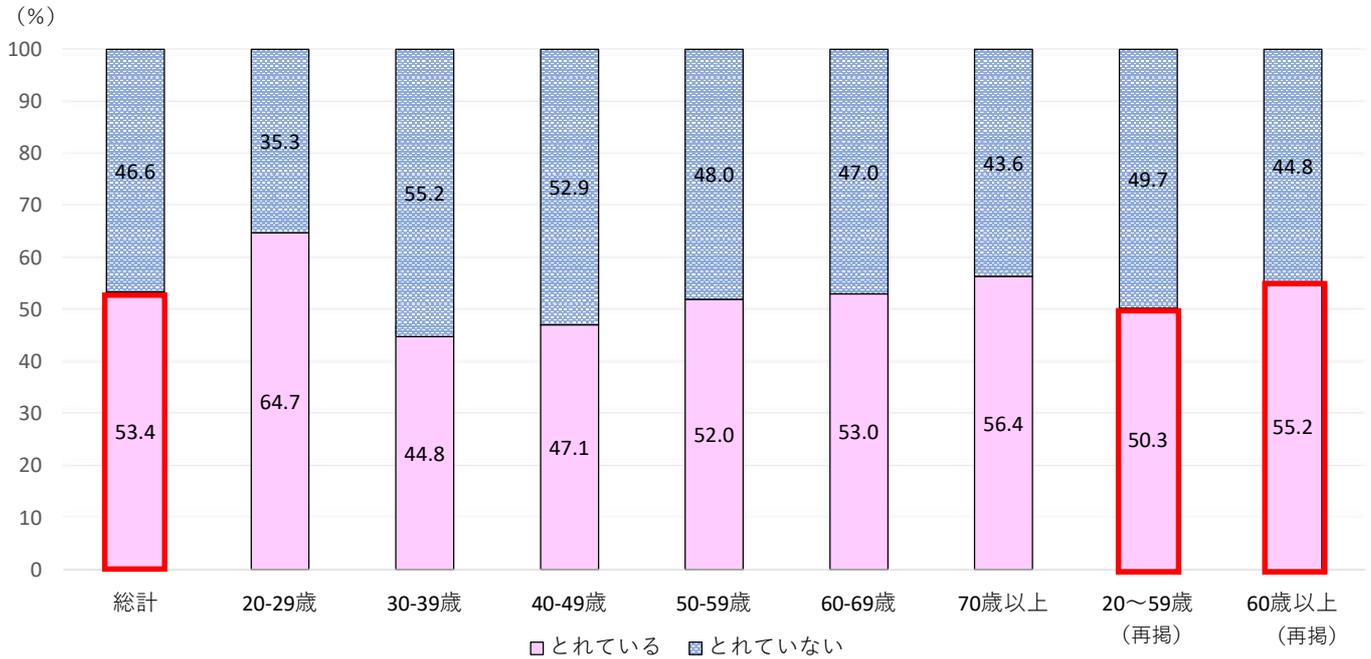
令和6年国民健康・栄養調査佐賀県の結果（ベースライン値該当項目）

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加



令和6年国民健康・栄養調査佐賀県の結果（ベースライン値該当項目）

睡眠時間が十分に確保できている者の割合の増加

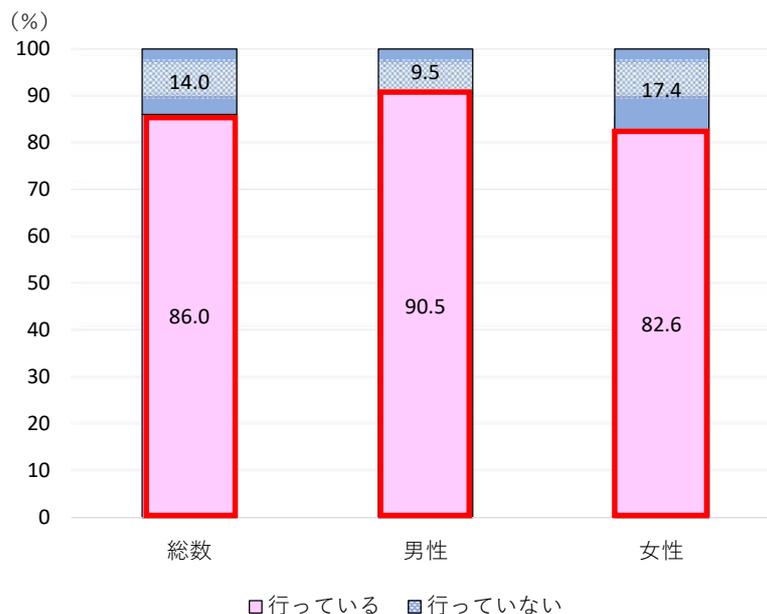


十分に確保できている 20~59歳：6時間以上9時間未満 60歳以上：6時間以上8時間未満

13

令和6年国民健康・栄養調査佐賀県の結果（ベースライン値該当項目）

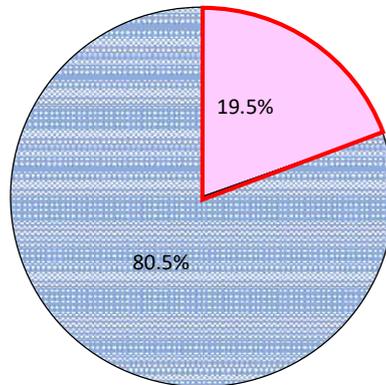
社会活動を行っている者の割合の増加



社会活動を行っている：町内会や地域行事などの活動・ボランティア活動・スポーツ関係のグループ活動・趣味関係のグループ活動・その他のグループ活動のいずれかに参加している者、就労・就学している者

14

望まない受動喫煙の機会を有する者の減少



□ いずれかを受けた ■ 全く受けなかった

望まない受動喫煙を受けた者：（家庭・職場・飲食店のいずれか1つ以上の設問において、「ほぼ毎日」「週に数回程度」「週に1回程度」「月に1回程度」のいずれかを選択したものの数／家庭、職場、飲食店のすべての設問に回答した者の数）
×100
※現在喫煙者は集計対象から除く

15

令和7年度の主な取組

16

【新】野菜をもっと食べるための取組（栄養・食生活）

野菜摂取量測定機器『ベジメータ』

概ね2週間の皮膚のカロテノイド量を測定し、野菜の摂取状況を数値化する装置

▼ベジメータ測定風景

判定結果票▶



【新】野菜をもっと食べるための取組（栄養・食生活）

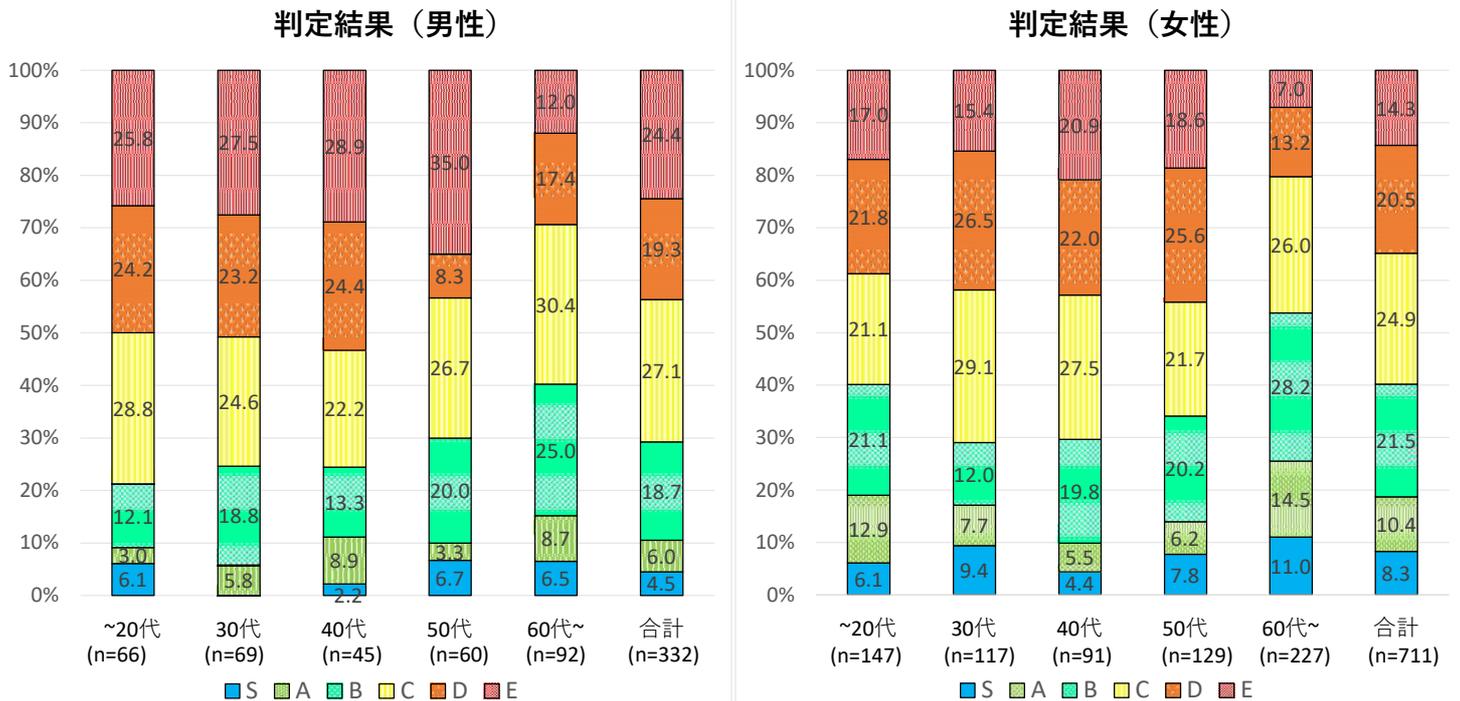
ベジメータを使った野菜摂取量の測定実績（R7.12月末現在）

No	日付	事業名	対象者	No	日付	事業名	対象者
1	8月5日	健康診断時測定会	県職員	14	11月6日	毎月庁内測定会（2回目）	職員
2	8月6日	健康診断時測定会	県職員	15	11月10日	(株)ヤマコ企業内測定会	従業員
3	8月7日	健康診断時測定会	県職員	16	11月12日	唐津地区職員測定会	職員
4	8月26日	唐津保健福祉事務所職員測定会	県職員	17	11月13日	唐津地区職員測定会	職員
5	8月27日	唐津地区職員測定会	県職員	18	11月16日	世界糖尿病デーイベント	県民
6	8月29日	はつらつ教室	食生活改善推進員	19	11月20日	(株)ヤマコ企業内測定会	従業員
7	8月30日	野菜の日イベント	県民	20	11月21日	(株)ヤマコ企業内測定会	従業員
8	9月2日	さが健康維新県民会議	会議出席者	21	11月22日	健康経営ウォーキングイベント	企業従業員
9	9月18日	企業イベント	従業員	22	11月26日	庁内測定会	県民
10	10月1日	毎月庁内測定会（1回目）	県職員	23	12月2日	毎月庁内測定会（3回目）	職員
11	10月7日	食生活改善推進員交流会	食生活改善推進員	24	12月3日	佐賀市食改理事会	食改会員
12	10月26日	多久市健康まつり	多久市民	25	12月13日	小城多久地区糖尿病肝がん市民公開講座	小城・多久市民
13	10月29日	ゆめさが大学 学園祭	県民				

< 25回 計1599人に実施 >

【新】野菜をもっと食べるための取組（栄養・食生活）

ベジメータを使った野菜摂取量の測定実績（R7.12月末現在）



推定野菜摂取量 【充足】 S:400g以上 A:350g~399g
 【不足】 B:284~349g C:230~283g D:184~229g E:0~183g

さが健康維新県民運動

①関係機関のイベント参加

▼測定・紹介

- 野菜摂取量の測定
- お口の環境・筋力測定
- SAGATOCO紹介 等



② 広報・普及啓発

▼ 県立図書館展示



▼ 健康プラン概要版作成 (関係者用)

▼ ポスター、リーフレット、ノベルティ配布



③ SNS・Webサイト

▼ ベジスタInstagram



▼ Webサイト



第3次佐賀県健康プランに関する取組状況

資料1-2

佐賀県健康プラン推進審議会
令和8年2月9日(月)

目標項目	令和7年度 具体的な取組状況 (予定含む)
1 健康寿命の延伸と健康格差の縮小	
健康寿命の延伸	
2 個人の行動と健康状態の改善	
2-1 生活習慣の改善	
ア 栄養・食生活	
<p>【適正体重】 肥満(BMI25以上)の割合の減少(40~69歳) 女性のやせ(BMI18.5未満)の割合の減少 (20~39歳女性) 低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加 の抑制 小学5年生の肥満傾向児の割合の減少</p> <p>【食生活】 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上 の日はほぼ毎日の者の割合の増加 野菜摂取量の増加 果物摂取量の改善 食塩摂取量の減少</p>	<p><健康福祉政策課> ・「食と栄養」、ベジスタに関する普及啓発 ・食生活改善普及運動(9月)に合わせた普及啓発 ・イベント等におけるベジメータを使用した1日当たりの推定野菜摂取量測定及び目標量達成のための助言 ・低栄養予防事業</p> <p><くらしの安全安心課> ・食育推進事業において、生涯にわたるライフステージに応じた食育を推進する一環として、県内の幼稚園・小中学校・高校などで開催される食育講演会へ講師を派遣するなど、若い世代を中心とした啓発活動を行っている。 ・食育の推進のため「食育の日メッセージ」で「野菜摂取」「果物摂取」「早寝・早起き・朝ごはん」への取組などをSNSで発信し啓発している。 ・食育の普及、推進を目的として設立した「食育ネットワークさが」と情報交換、連携しながら食育活動の取組の推進を行っている。</p> <p><こども家庭課> ・プレコンセプションケアの普及啓発冊子において、適正体重に関すること及び女性のやせと貧血・骨粗鬆症との関連等について記載している。</p> <p><保健体育課> ・こどもの肥満や食生活の実態について庁内関係課と情報共有を行い、モニタリングを継続する。 ・こどもと保護者に対し、望ましい食習慣が定着化するよう、さまざまな食育活動による啓発活動を継続する。 ・幼稚園・保育園、小・中学校、高校等において実践される食育に対し、必要に応じて健康づくりに関するアドバイスを行う等の支援を行う。</p>

第3次佐賀県健康プランに関する取組状況

目標項目	令和7年度 具体的な取組状況（予定含む）
<p>イ 身体活動・運動</p> <p>県公式ウォーキングアプリ「SAGATOCO」のダウンロード数の増加 1日の平均歩数の増加 運動習慣者の割合の増加 運動やスポーツを習慣的にしていないこどもの割合の減少</p>	<p><健康福祉政策課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体活動・運動に関する普及啓発 ・SAGATOCOの利活用の促進 イベント開催、歩く機運向上の普及啓発 ・健康増進普及月間(9月)に合わせた普及啓発 <p><交通政策課></p> <p>公共交通などマイカー以外の移動手段を取り入れる「歩くライフスタイル推進プロジェクト」を推進するため、以下の取組を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの頃からバスに乗るきっかけをつくり、バスに乗って県内を冒険する機会を創出するため、ラッピングバス「SAGAぼうけんバス」を県内3社路線で運行。バスに乗ってシールを集め、賞品が当たる抽選に応募できる企画を実施予定。 ・佐賀さいこうフェスへバスでの来場を促すため、佐賀市内バス停で降車した場合に運賃が無料となる「佐賀市内バス運賃無料DAY」を実施 <p><スポーツムーブメントチーム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民にスポーツを普及振興し、スポーツ精神の高揚を図り、県民生活を明るく豊かなものにするため、県民スポーツ大会を毎年開催。県下を4地域区分に分けて持ち回りとし、今年度は佐賀市・多久市・小城市にて開催(得点種目20競技、公開競技2競技実施。柔剣道は今後予定。)し、動画配信や最優秀選手賞の表彰などの新しい試みを行った。動画配信ではサガンティアの活用によりスポーツを「する」だけでなく「観る」「支える」ことで多くの人々がスポーツに関わる機会になった。 ・県民に全県的な規模のスポーツ・レクリエーションの場を提供することにより、スポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、もって本県生涯スポーツ振興と明るく生き生きとした県民生活の一層の充実に寄与するため、佐賀県さわやかスポーツ・レクリエーション祭を開催。県下を4地域区分に分けて巡回開催とし、今年度は武雄市・杵島郡・鹿島市・嬉野市・藤津郡で開催。(交流大会16種目とスポーツ・レクリエーション無料体験(幼児・小学生対象) 計1,553名参加) ・佐賀市及び唐津市でバスケットボールコートを整備し、誰もが気軽にスポーツに親しめる場として開放。佐賀市のコートでは、佐賀バルーンズやBリーグの魅力を分かりやすく伝えるyoutube動画「バルトーク#5」をインターネット上に公開し、コートのさらなる広報と利用促進を図っている。 <p><こども家庭課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレコンセプションケアの普及啓発冊子において、運動のメリットに関する記載及びSAGATOCOを紹介している。 <p><保健体育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツチャレンジによる運動機会の提供、体力向上優良校等の表彰、さがんキッズ体力アップホームページの充実により、運動に親しむことができる環境の充実に図る。 ・教職員の資質向上を図るための研究会・研修会等の開催や専門的な指導のための授業協力者の派遣により授業の充実に図る。 ・体力・運動能力調査の記録用個票の配布して保護者と共有するなど、家庭との連携を図る。 ・授業充実に向けた研究指定校の設置する。

第3次佐賀県健康プランに関する取組状況

目標項目	令和7年度 具体的な取組状況（予定含む）
ウ 休養・睡眠	
睡眠による休養を十分にとれている者の割合の増加 睡眠時間が十分に確保できている者の割合の増加	<p><健康福祉政策課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・休養・睡眠に関する普及啓発 ・「健康づくりのための睡眠ガイド2023」の普及啓発 <p><産業人材課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ウェルビーイング推進事業」において、県内企業の従業員が身体的、精神的、社会的に良好な状態を保ち、かつ、意欲的に働くことができる職場環境の整備の支援するため、従業員の意欲や熱意の現状・課題把握を図るエンゲージメントサーベイを活用する企業を支援。
エ 飲酒	
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少 妊婦の飲酒をなくす	<p><健康福祉政策課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正飲酒に関する普及啓発 ・健康に配慮した飲酒に関するガイドラインの普及啓発 <p><障害福祉課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界肝炎デーにおける普及啓発(ゆめタウン佐賀でスナッピーカード・健康飲酒に関わるチラシの配布) ・一般県民向け講座の実施 ・支援者向け研修会の開催 ・アルコール依存症を含むアルコール問題に関する相談・訪問支援の実施 ・アルコール問題の悩みを抱える本人を対象としたプログラムの実施 ・アルコール問題で悩む家族を対象とした家族教室を開催 <p><こども家庭課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレコンセプションケアの普及啓発冊子において、「純アルコール量」をイラストで示している。 <p><保健体育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校では「体育」の保健領域、中学校・高等学校では「保健体育」の保健分野、科目保健の時間等により保健教育を徹底する。
オ 喫煙	
成人の喫煙率の減少(喫煙をやめたい人がやめる) 妊婦の喫煙をなくす	<p><健康福祉政策課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内全中学1年生の生徒及び小学6年生の児童等に対して、学校医・学校歯科医・学校薬剤師等を中心として、喫煙が健康に及ぼす害等について防煙の健康教育を行っている。 ・禁煙や受動喫煙に関する情報を広報誌やHP掲載、世界禁煙デーや禁煙週間、イベント等を利用し広く県民に普及啓発を行っている。 ・出産や子育てを行う若い女性を対象とした禁煙防止ポスターを作成し、女性が多く訪れそうな店舗等への配布及び普及啓発を行う。 <p><こども家庭課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する佐賀県ホームページにおいて、妊婦自身の喫煙や受動喫煙がSIDSの発生要因のひとつであることについて、普及啓発を行っている。 ・プレコンセプションケアの普及啓発冊子において、たばこ(新型たばこ含む)は健康リスクであることについての記載及び禁煙外来に関して紹介している。 <p><保健体育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内のすべての中学1年生及び小学6年生への防煙教育を実施。 ・小学校では「体育」の保健領域、中学校・高等学校では「保健体育」の授業等により保健教育を徹底する。

第3次佐賀県健康プランに関する取組状況

目標項目	令和7年度 具体的な取組状況（予定含む）
カ 歯・口腔の健康	
40歳以上における歯周炎を有する者の割合の減少 50歳以上における咀嚼良好者の割合の増加 20歳以上で過去1年間に歯科健診を受診した者の割合の増加	<健康福祉政策課> ・「さが健康維新県民運動」における「くちパト(お口のパトロールライフ)」を推奨し、県民向けのイベント等で「かかりつけ歯科医」の重要性について県民に対して広く普及啓発を行った。 ・佐賀県口腔保健支援センターで行っている県政出前講座等の機会を利用し、成人期からの歯周炎増加、咀嚼・嚥下等の重要性、かかりつけ歯科医の必要性等、歯科保健の知識について広く啓発を行っている。 ・若年からの歯周病の予防対策について学校関係者等に研修会を行い、早期からの歯周病予防対策の普及啓発を図った。
2-2 生活習慣病(NCDs)の発症予防・重症化予防	
ア がん	
がんの年齢調整罹患率の減少 がんの年齢調整死亡率の減少 がん検診受診率の向上 職域における要精密検査(肝炎ウイルス検査陽性者)の医療機関受診率の向上	<健康福祉政策課> ・テレビCMや新聞広告、出前講座、イベントでのブース出展等による啓発を実施。 ・乳身近な方からの声かけの重要性に着目し、家庭でがん検診受診について会話するきっかけづくりとして県内全小学校にがん検診啓発のシールを配布。 ・職域大腸がん検診促進事業、がん検診受診率向上サポーター企業登録事業 ・協会けんぽ佐賀支部と連携した職域の肝炎ウイルス検査事業 ・肝炎コーディネーター養成・スキルアップ研修 ・未来へ向けた胃がん対策推進事業(中学3年生を対象としたピロリ菌検査・除菌事業) ・重粒子線治療の普及啓発
イ 循環器病	
脳血管疾患・心疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり) 男性 高血圧症有病者の割合の減少 脂質異常症の者の割合の減少 メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少 特定健康診査の実施率の向上 特定保健指導の実施率の向上	<健康福祉政策課> ・生活習慣病予防、減塩に関する啓発 <健康福祉政策課> ・令和6年度に佐賀県脳卒中・心臓病等総合支援センター(以下、センター)を開設。循環器病の患者・家族等への総合的な相談窓口を設置し、相談支援や情報提供を行うとともに、県民への予防啓発、地域の医療機関を対象にした研修会の開催や情報提供等を行い、患者支援体制の構築を行っている。 ・自分の血圧を知らない高校生ZERO事業と称し、センターと連携して県内の高等学校に医師を派遣し、循環器病(血圧)の講話や血圧測定を行うことで、県内の高校生に自分の血圧や起こりうる病気等への予防、対策を知ってもらう事業を展開。今年度は県内の高等学校17校(国公立及び特別支援学校を含む)を対象に事業を実施しており、現時点でアンケート回答者の9割以上の生徒が「血圧について理解できた」「自分の血圧が知りたくなった」と回答。 <国民健康保険課> 保険者への支援を実施 ・特定健診・特定保健指導の受診勧奨広報の実施 ・特定保健指導従事者の養成・資質向上のための研修の開催 ・医療機関と連携した特定健診実施率向上の体制整備のため、モデル市町への支援継続とともに、効果的な取組の横展開を目指しマニュアルの作成や全体研修会を開催。

第3次佐賀県健康プランに関する取組状況

目標項目	令和7年度 具体的な取組状況（予定含む）
ウ 糖尿病	
<p>糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少 糖尿病治療継続者の割合の増加 血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少 糖尿病有病者の割合の増加の抑制 糖尿病予備群の割合の減少 (再掲)メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少 (再掲)特定健康診査の実施率の向上 (再掲)特定保健指導の実施率の向上</p>	<p><健康福祉政策課> ・糖尿病疾病管理強化対策事業 「佐賀県糖尿病連携手帳」の活用・促進 糖尿病コーディネート看護師活動支援 ・糖尿病予防戦略事業 ・「ストップ糖尿病」対策事業</p> <p><国民健康保険課> 糖尿病性腎症重症化予防のために保険者が取組む未治療者・治療中断者対策への支援 ・市町国保保険者を対象とした情報交換会を国保連合会とともに開催し、KDBデータ等分析資料の提供や効果的な取組の共有等を通じて、効果的な保健事業の推進のための支援を行った。 ・医科と歯科の連携強化及び人材育成のため、歯科衛生士を対象とした人材育成研修(基礎、フォローアップ)を開催。</p>
エ COPD	
<p>COPDの死亡率の減少 COPDの認知度の向上</p>	<p><健康福祉政策課> ・11月19日の「世界COPDの日」に合わせたCOPDに関する情報の普及啓発(新聞広告掲載等) ・自治体職員及び医療従事者に対するCOPD研修会の開催</p>
2-3 生活機能の維持・向上	
<p>ロコモティブシンドロームの減少(足腰に痛みのある高齢者の減少) ロコモティブシンドロームの認知度の向上 骨粗鬆症検診受診率の向上 気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合の減少</p>	<p><健康福祉政策課> ・ロコモティブシンドロームに関する普及啓発 ・ロコモ対策委員会の開催</p> <p><長寿社会課> ・高齢者の健康づくりの重要な拠点となっている通いの場を中心とした介護予防事業(市町事業)におけるリハビリテーション、口腔、栄養の専門職の関りを強化するため、県内医療機関、専門職団体等に対し派遣調整の依頼を行うとともに、必要な人材育成に取り組んでいる。 ・佐賀大学医学部附属病院と連携して、高齢者のフレイル・サルコペニア予防に効果的な運動プログラム(体操DVD)を制作する。</p> <p><障害福祉課> ・メンタルヘルスに関する研修会の開催 ・相談窓口の周知(保健福祉事務所・精神保健福祉センター) ・こころの悩みや精神疾患に関する相談対応(医師・心理士・保健師等)</p>

第3次佐賀県健康プランに関する取組状況

目標項目	令和7年度 具体的な取組状況（予定含む）
3 社会環境の質の向上	
3-1 社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上	
<p>(①～③まで 社会とのつながり)</p> <p>①地域の人々とのつながりを感じている者の増加 ②社会活動を行っている者の増加 ③共食している者の増加</p> <p>(④～⑤まで こころの健康の維持・向上)</p> <p>④こころの健康づくり実行宣言登録事業所数の増加 ⑤ゲートキーパー研修受講者数の増加</p>	<p><健康福祉政策課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区組織(食生活改善推進協議会)の育成 ・食生活改善推進協議会の活動を通じてのソーシャルキャピタルの醸成 <p><長寿社会課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブの活動に対する補助や介護支援ボランティアポイント制度の普及促進、ゆめさが大学を活用した高齢者の学びの場の提供等により、高齢者の社会参加活動を推進している。 ・通いの場において専門職による運動指導や健康指導が行われ、高齢者が健康づくりのために行きたくなる場となるよう県内医療機関、専門職団体等に対し専門職派遣調整の依頼を行うとともに、必要な人材育成に取り組んでいる。 ・高齢者の身体機能を向上(維持)するだけではなく、虚弱高齢者から元気高齢者まで誰もが楽しさや喜びを感じながら健康づくりができるような運動プログラム(体操DVD)を制作する。 <p><障害福祉課>佐賀県自殺対策基本計画に基づき、以下の取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策を支える人材の育成としてゲートキーパー養成・かかりつけ医のうつ病対応力向上研修を実施し、悩みを抱えた人を早期に発見し必要な支援や医療につながるよう取り組んでいる。 ・自殺予防週間や自殺対策強化月間などにキャンペーンを行い自殺予防や心の健康について広報活動を実施
3-2 自然に健康になれる環境づくり	
<p>「健康な食事」提供店数の増加 望まない受動喫煙の機会を有する者の減少</p>	<p><健康福祉政策課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の環境整備事業により、「健康な食事」提供店の増加取組・支援及び利用者への普及啓発 ・「空気もおいしいお店(禁煙届出飲食店)」制度を設定し、敷地内禁煙、屋内禁煙を選択した飲食店に対し当制度のPRを行い、禁煙とする飲食店の推奨、啓発、拡大を図ることで、受動喫煙対策を促進している。 ・受動喫煙対策に係る喫煙専用室設置・運用等を含めた問い合わせや苦情等の受付、回答を行うコールセンターを設置し、苦情や義務違反があった者に対する電話や訪問による法の周知啓発、改善依頼を行っている。
3-3 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備	
<p>県と共同して県民の健康づくりに取り組む企業団体等の増加(さが健康維新県民運動サポート企業等) 健康経営に取り組む事業所数の増加 健康経営に取り組む事業所数の増加のうち優良企業事業所の占める割合の増加 管理栄養士・栄養士を配置している施設(病院、介護老人保健施設、介護医療院を除く。)の割合の増加</p>	<p><健康福祉政策課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康経営に取組み、優れた取組みを行っている企業を知事が表彰し、取組事例の紹介を行っている。 ・健康経営の推進のため企業の経営者と従事者を対象とした健康経営セミナーの開催、企業へのハンズオン支援等を行った。 ・特定給食施設指導(実地指導・研修会の開催等) ・特定給食施設への情報提供

第3次佐賀県健康プランに関する取組状況

目標項目	令和7年度 具体的な取組状況（予定含む）
4 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり	
ア こども	
<p>(再掲)運動やスポーツを習慣的にしていないこどもの割合の減少 (再掲)小学5年生の肥満傾向児の割合の減少</p>	<p><健康福祉政策課> ・「食と栄養」に関する普及啓発 ・身体活動・運動に関する普及啓発</p> <p><スポーツムーブメントチーム> ・こどもも参加できる佐賀県さわやかスポーツ・レクリエーション祭を開催し、こどもの体力向上、健康増進等に寄与した。 ・佐賀市及び唐津市でバスケットボールコートを整備し、誰もが気軽にスポーツに親しめる場として開放。佐賀市のコートでは、佐賀バルナーズやBリーグの魅力を分かりやすく伝えるyoutube動画「バルトーク#5」をインターネット上に公開し、コートのさらなる広報と利用促進を図っている。</p> <p><くらしの安全安心課> ・食育推進事業において、生涯にわたるライフステージに応じた食育を推進する一環として、県内の幼稚園・小中学校・高校などで開催される食育講演会へ講師を派遣するなど、若い世代を中心とした啓発活動を行っている。 ・食育について考える機会となるよう、小学生を対象に食育標語コンクールを行っており、その作品を掲載した食育カレンダーを作成し、小学校新1年生に配布している。</p> <p><こども家庭課> ・性別を問わず、早い時期から性や妊娠に関する正しい知識を持ち、健康管理に取り組むことで望むライフプランの実現につなげる「プレコンセプションケア」の普及啓発を目的に冊子を作成し、県内の高校・大学・短大・専門学校へ配布した。 ・高校・大学等での出前講座のほか、セミナーを実施した。</p> <p><保健体育課> ・こどもの肥満や食生活、運動習慣などの生活習慣の実態について庁内関係課と情報共有を行い、モニタリングを継続する。 ・こどもと保護者に対し、望ましい食習慣やスポーツ習慣が定着化するよう、さまざまな食育活動やスポーツに関するイベント等による啓発活動を継続する。 ・幼稚園・保育園、小・中学校、高校等において実践されている食育やスポーツ活動の際、必要に応じて健康づくりに関するアドバイスを行うなどの支援を行う。</p>
イ 高齢者	
<p>(再掲)低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加の抑制 (再掲)ロコモティブシンドロームの減少(足腰に痛みのある高齢者の減少) (再掲)社会活動を行っている高齢者の増加</p>	<p><健康福祉政策課> ・低栄養予防事業 ・ロコモティブシンドロームに関する普及啓発 ・ロコモ対策委員会の開催</p> <p><長寿社会課> ・老人クラブの活動に対する補助や介護支援ボランティアポイント制度の普及促進、ゆめさが大学を活用した高齢者の学びの場の提供等により、高齢者の社会参加活動を推進している。 ・高齢者の健康づくりの重要な拠点となっている通いの場を中心とした介護予防事業(市町事業)におけるリハビリテーション、口腔、栄養の専門職の関りを強化するため、県内医療機関、専門職団体等に対し派遣調整の依頼を行うとともに、必要な人材育成に取り組んでいる。 ・佐賀大学医学部附属病院と連携して、高齢者のフレイル・サルコペニア予防に効果的な運動プログラム(体操DVD)を制作する。</p>

第3次佐賀県健康プランに関する取組状況

目標項目	令和7年度 具体的な取組状況（予定含む）
ウ 女性	
<p>(再掲) 女性のやせ(BMI18.5未満)の割合の減少 (20～29歳女性) (再掲) 骨粗鬆症検診受診率の向上 (再掲) 妊婦の飲酒をなくす (再掲) 妊婦の喫煙をなくす</p>	<p><健康福祉政策課> ・「食と栄養」に関する普及啓発 ・女性の健康週間にあわせた普及開発</p> <p><くらしの安全安心課> ・食育推進事業において、生涯にわたるライフステージに応じた食育を推進する一環として、県内の幼稚園・小中学校・高校などで開催される食育講演会へ講師を派遣するなど、若い世代を中心とした啓発活動を行っている。特に高校生向けの講演では、スポーツ栄養学に関連させて、女性アスリートが陥りやすい無月経・やせについても取り上げた。</p> <p><男女参画・女性の活躍推進課> ・女性の健康課題への理解を深めるための取組としてフェムケアSAGAを県内3カ所にて開催している。 ・女性の健康課題の解決に向けて、フェムケア・フェムテック製品、サービスを活用した取り組みに関心のある企業を募集。参加企業には、モニターとしてサービスやセミナー等を実施し、女性の健康課題に対する理解を深める機会を提供している。</p> <p><こども家庭課> ・市町における産婦健診・産後ケア事業の実施に向けた広域的な調整を実施している。また、妊娠・出産・育児に不安のある妊産婦等を対象とした子育て支援カウンセラー派遣事業を継続している。 ・佐賀県女性健康支援センター(妊娠SOSさが)を設置し、思春期から更年期に至る女性を対象とした健康相談事業を行っている。 ・保健福祉事務所において、学校関係者(養護教諭等)や児童福祉施設職員、県・市町保健師を対象とした思春期性教育従事者研修会を開催している。 ・プレコンセプションケアの普及啓発冊子において、月経やホルモンバランスに関する基礎知識及びかかりつけ医への相談に関して記載している。 ・高校・大学等での出前講座やセミナーにおいて、産婦人科医や助産師から月経や産婦人科受診等についての講演を行った。</p> <p><障害福祉課> ・世界肝炎デーにおける普及啓発(ゆめタウン佐賀でスナッピーカード・健康飲酒に関わるチラシの配布) ・一般県民向け講座の実施 ・支援者向け研修会の開催 ・アルコール依存症を含むアルコール問題に関する相談・訪問支援の実施 ・アルコール問題の悩みを抱える本人を対象としたプログラムの実施 ・アルコール問題で悩む家族を対象とした家族教室を開催</p>

第3次佐賀県健康プラン目標一覧・モニタリング

基本的な方向性	第3次佐賀県健康プラン目標	ベースライン値	把握年度	モニタリング値	把握年度	モニタリング値	把握年度	モニタリング値	把握年度	中間目標値	把握年度	最終目標値	把握年度	データソース
1 健康寿命の延伸と健康格差の縮小														
	①平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加(男性)	日常生活に制限がある期間 8.40年	2019	8.62年	2022					平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	2025	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加(男性)(女性)	2031	国民生活基礎調査 簡易生命表
	②平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加(女性)	日常生活に制限がある期間 12.00年	2019	11.52年	2022						2025		2031	
2 個人の行動と健康状態の改善														
2-1 生活習慣の改善														
ア 栄養・食生活														
	①肥満(BMI25以上)の割合の減少 40~69歳	30.0% 男性 36.8% 女性 22.6%	2020	29.9% 男性 37.0% 女性 22.6%	2021	29.7% 男性 36.7% 女性 22.4%	2022	29.6% 男性 37.4% 女性 21.6%	2023	25%未満	2027	20%未満	2032	特定健診 (健康福祉政策課調)
	②女性のやせ(BMI18.5未満)の割合の減少 20~39歳	14.8%	2020							現状維持	2027	現状維持	2032	県民健康意識調査
	③低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加の抑制	18.4%	2020							15%未満	2027	13%未満	2032	県民健康意識調査
	④小学5年生の肥満傾向児の割合の減少	10.92% 男子 14.37% 女子 7.24%	2021	10.99% 男子11.21% 女子10.74%	2022	11.59% 男子15.35% 女子 7.70%	2023	12.79% 男子13.23% 女子12.34%	2024	減少傾向へ	2027	減少傾向へ	2032	学校保健統計調査
	⑤主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がある割合の増加 (佐賀県で算定)	52.6%	2024							45%	2028	50%	2032	国民健康・栄養調査(生活習慣調査)
	⑥野菜摂取量の増加	239.7g/日	2022							350g/日	2027	350g/日	2032	県民健康・栄養調査
	⑦果物摂取量の改善	75.5g/日	2022							200g/日	2027	200g/日	2032	県民健康・栄養調査
	⑧食塩摂取量の減少	12.8g/日	2022							7g/日	2027	7g/日	2032	県民健康・栄養調査
イ 身体活動・運動														
	①県公式ウォーキングアプリ「SAGATOCO」のダウンロード数の増加	97,833	2022	114,248	2023	130,176	2024			30万	2028	増加傾向	2033	健康福祉政策課
	②1日の平均歩数の増加 (県公式ウォーキングアプリ「SAGATOCO」年次平均歩数)	5,598歩	2022	5,623歩	2023	5,642歩	2024			6,300歩	2028	7,000歩	2033	健康福祉政策課
	③運動習慣者の割合の増加	18.7% 20~64歳 男性 22.9% 女性 12.7% 65歳以上 男性 36.9% 女性 36.1%	2020							30%	2027	40% 20~64歳 男性 30% 女性 30% 65歳以上 男性 50% 女性 50%	2032	県民健康意識調査
	④運動やスポーツを習慣的にしていないこどもの割合の減少 1週間の総運動時間(体育授業除く)が60分未満の児童(小学5年生女子)の割合	14.7% (参考) 小学5年生 男子7.7%	2022	17.4% (参考) 小学5年生 男子9.2%	2023	17.3% (参考) 小学5年生 男子10.5%	2024	18.9% (参考) 小学5年生 男子10.1%	2025	減少傾向へ	2028	減少傾向へ	2033	全国体力・運動能力、運動習慣等調査
ウ 休養・睡眠														
	①睡眠による休養を十分にとれている者の割合の増加	78.9% 20~59歳 73.5% 60歳以上 85.4%	2020							79.5%	2027	80% 20~59歳 75% 60歳以上 90%	2032	県民健康意識調査
	②睡眠時間が十分に確保できている者の割合の増加	53.4% 20~59歳 50.3% 60歳以上 55.2% (佐賀県で算定)	2024							増加傾向	2028	ベースライン値から10%の増加 20~59歳 10%増加 60歳以上 10%増加	2032	国民健康・栄養調査(生活習慣調査)
エ 飲酒														
	①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少	11.5% 男性 13.8% 女性 9.8%	2020							10%	2027	今後の計画の見直しに合わせて設定	2032	県民健康意識調査
	②妊婦の飲酒をなくす	0.9%	2021	0.7%	2022	0.7%	2023	0.7%	2024	0%	2027	0%	2032	こども家庭庁母子保健課調査
オ 喫煙														
	①20歳以上の者の喫煙率の減少 (喫煙をやめたい人がやめる)	16.0% 男性 26.1% 女性 7.7%	2020							14.2%	2027	12%	2032	県民健康意識調査
カ 歯・口腔の健康														
	①40歳以上における歯周炎を有する者の割合の減少	59.4%	2022							50%	2028	40%	2032	県民歯科疾患実態調査
	②50歳以上における咀嚼良好者の割合の増加	83.1%	2022							86%	2028	90%	2032	県民歯科疾患実態調査
	③20歳以上で過去1年間に歯科健診を受診した者の割合の増加	51.8%	2020							75%	2027	95%	2032	県民健康意識調査

資料1-3
佐賀県健康プラン推進審議会
令和8年2月9日(月)

第3次佐賀県健康プラン目標一覧・モニタリング

基本的な方向性	第3次佐賀県健康プラン目標	ベースライン値	把握年度	モニタリング値	把握年度	モニタリング値	把握年度	モニタリング値	把握年度	中間目標値	把握年度	最終目標値	把握年度	データソース
2-2 生活習慣病（NCDs）の発症予防・重症化予防														
ア がん														
	①がんの年齢調整罹患率の減少（人口10万人当たり）	389.6	2019	364.2	2020	400.0	2021			減少	2025	今後の計画の見直しに合わせて設定	2030	全国がん登録
	②がんの年齢調整死亡率の減少（人口10万人当たり・75歳未満）	71.1	2021	72.4	2022	71.6	2023	70.0	2024	減少	2027	今後の計画の見直しに合わせて設定	2030	がん統計
	③がん検診受診率の向上 胃がん、肺がん、大腸がん（40～69歳）、子宮頸がん（20～69歳）、乳がん（40～69歳）	胃がん54.4% （男58.4%女50.0%） 肺がん54.4% （男58.4%女50.6%） 大腸がん46.8% （男51.3%女43.0%） 子宮頸がん45.3% 乳がん50.0%	2022							全てのがん検診受診率60%	2028	今後の計画の見直しに合わせて設定	2033	国民生活基礎調査
	④職域における要精密検査（肝炎ウイルス検査陽性者）の医療機関受診率の向上	68.3%	2018～2022	46.7%	2024					80%以上	～2028	今後の計画の見直しに合わせて設定	2029～	健康福祉政策課
イ 循環器病														
	①脳血管疾患・心疾患の年齢調整死亡率（人口10万人当たり）の減少 男性	男性261.3 脳血管85.1 心疾患176.2 （参考） 女性162.6 脳血管52.7 心疾患109.9	2020	男性251.8 脳血管87.8 心疾患164.0 （参考） 女性149.3 脳血管49.2 心疾患100.1	2021	男性270.9 脳血管92.9 心疾患178.0 （参考） 女性162.5 脳血管49.7 心疾患112.8	2022	男性262.6 脳血管88.9 心疾患173.7 （参考） 女性154.9 脳血管48.8 心疾患106.1	2023	減少	2025	今後の計画の見直しに合わせて設定	2030	人口動態統計 特殊報告
	②高血圧症有病者の割合の減少 収縮期血圧 140mmHg以上	17.3% （参考） 拡張期血圧 90mmHg以上12.1%	2020	17.1% （参考） 拡張期血圧 90mmHg以上11.9%	2021	16.9% （参考） 拡張期血圧 90mmHg以上11.9%	2022			15.2%	2026	13.0%	2031	特定健診 （NDBオープンデータ）
	③脂質異常症の者の割合の減少 LDLコレステロール160mg/dl以上	12.8%	2020	12.3%	2021	11.2%	2022			11.2%	2026	9.6%	2031	特定健診 （NDBオープンデータ）
	④メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少	30.8%	2021	30.8%	2022	30.5%	2023			23%	2027	23%	2032	特定健康診査・特定保健指導実施状況
	⑤特定健康診査の実施率の向上	52.9%	2021	54.0%	2022	56.5%	2023			70%	2027	70%	2032	特定健康診査・特定保健指導実施状況
	⑥特定保健指導の実施率の向上	31.9%	2021	34.9%	2022	34.6%	2023			45%	2027	45%	2032	特定健康診査・特定保健指導実施状況
ウ 糖尿病														
	①糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少	108人	2021	103人	2022	90人	2023			96人	2027	85人	2032	日本透析医学会 わが国の慢性透析療法の現況
	②糖尿病治療継続者の割合の増加	62.9% 男性 63.3% 女性 62.1%	2020	62.7% 男性 64.4% 女性 59.7%	2021	62.5% 男性 64.2% 女性 59.6%	2022	63.8% 男性 66.3% 女性 59.4%	2023	72.3%	2026	81%	2031	特定健診 （健康福祉政策課調）
	③血糖コントロール指標におけるコントロール不良者（HbA1c8.0%以上の者）の割合の減少	1.5% 男性 2.1% 女性 0.9%	2020	1.5% 男性 2.0% 女性 0.8%	2021	1.5% 男性 2.1% 女性 0.8%	2022			1.3%	2026	1.1%	2031	特定健診 （NDBオープンデータ）
	④糖尿病有病者（HbA1c6.5%以上の者及び血糖関連服用者）の割合の増加の抑制	12.9% 男性 17.7% 女性 8.7%	2020	12.2% 男性 16.3% 女性 8.5%	2021	12.5% 男性 16.6% 女性 8.9%	2022	12.4% 男性 16.7% 女性 8.7%	2023	減少	2026	減少	2031	特定健診 （健康福祉政策課調）
	⑤糖尿病予備群（HbA1c6.0%以上6.5%未満の者）の割合の減少	14.1% 男性 13.5% 女性 14.7%	2020	14.2% 男性 13.4% 女性 14.9%	2021	15.3% 男性 14.2% 女性 16.4%	2022			減少	2026	減少	2031	特定健診 （NDBオープンデータ）
	⑥メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少（再掲）	30.8%	2021	30.8%	2022	30.5%	2023			23%	2027	23%	2032	特定健康診査・特定保健指導実施状況
	⑦特定健康診査の実施率の向上（再掲）	52.9%	2021	54.0%	2022	56.5%	2023	55.0% （法定報告速報値）	2024	70%	2027	70%	2032	特定健康診査・特定保健指導実施状況
	⑧特定保健指導の実施率の向上（再掲）	31.9%	2021	34.9%	2022	34.6%	2023	36.3% （法定報告速報値）	2024	45%	2027	45%	2032	特定健康診査・特定保健指導実施状況
エ COPD														
	①COPDの死亡率の減少（人口10万人当たり）	15.9	2022	15.4	2023					12.0	2028	10.0	2033	人口動態統計
	②COPDの認知度の向上	18.4%	2020							50%	2027	80%	2032	県民健康意識調査

第3次佐賀県健康プラン目標一覧・モニタリング

基本的な方向性	第3次佐賀県健康プラン目標	ベースライン値	把握年度	モニタリング値	把握年度	モニタリング値	把握年度	モニタリング値	把握年度	中間目標値	把握年度	最終目標値	把握年度	データソース
2-3 生活機能の維持・向上														
	①ロコモティブシンドロームの減少 (足腰に痛みのある高齢者の減少) 65歳以上人口千人当たり	228人	2022							220人	2025	210人	2031	国民生活基礎調査
	②ロコモティブシンドロームの認知度の向上	29.1%	2020							55%	2027	80%	2032	県民健康意識調査
	③骨粗鬆症検診受診率の向上	7.2%	2021	7.0%	2022	7.1%	2023			10%	2027	15%	2032	地域保健・健康増進事業報告
	④気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合の減少	8.5%	2022		2023					8.1%	2025	7.7%	2031	国民生活基礎調査
3 社会環境の質の向上														
3-1 社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上														
	①地域の人々とのつながりを感じている者の増加	今後把握	2027							増加傾向	2027	ベースラインから5%の増加	2032	県民健康意識調査
	②社会活動を行っている者の増加	86.0% 男性 90.5% 女性 82.6% (参考) 県民健康意識調査(2020) 【社会参加】 ・町内・地域行事等 46.4% ・ボランティア20.8% ・スポーツ関係18.9% ・趣味関係 19.8% ・その他 12.7% 【就労】【就学】 データなし	2024							増加傾向	2028	ベースライン値から5%の増加	2032	国民健康・栄養調査(生活習慣調査)
	③共食している者の増加	今後把握 ※2027 県民意識調査								23%	2028	30%	2032	国民健康・栄養調査⇒県民意識調査
	④こころの健康づくり実行宣言登録事業所数の増加	155事業所	2021	155事業所	2023	155事業所	2024			200事業所	2027	今後の計画の見直しに合わせて設定	2032	障害福祉課
	⑤ゲートキーパー研修受講者数の増加	1,333名	2021	1,791名	2022	2,336名	2023	3,377名	2024	4,000名以上/年	2027	今後の計画の見直しに合わせて設定	2032	障害福祉課
3-2 自然に健康になれる環境づくり														
	①「健康な食事」提供店舗の増加	49店舗	2022	56店舗	2023	63店舗	2024			63店舗	2028	77店舗	2033	健康福祉政策課
	②望まない受動喫煙の機会を有する者の減少	19.5% (参考) 県民健康意識調査(2020) 家庭14.3% 職場17.3% 飲食店12.3% 路上18.8%	2024							減少傾向	2028	望まない受動喫煙のない社会の実現	2032	国民健康・栄養調査(生活習慣調査)
3-3 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備														
	①県と共同して県民の健康づくりに取り組む企業団体等の増加 (さが健康維新県民運動サポート企業等)	26企業	2022	32企業	2023	34企業	2024			増加傾向	2028	増加傾向	2033	健康福祉政策課
	②健康経営に取り組む事業所数の増加	769事業所	2022	865事業所	2023	1056事業所	2024			890事業所	2028	1,000事業所	2033	健康福祉政策課
	③健康経営に取り組む事業所のうち優良企業事業所の占める割合の増加	54.2%	2022	53.6%	2023	45.1%	2024			57%	2028	60%	2033	健康福祉政策課
	④管理栄養士・栄養士を配置している施設(病院、介護老人保健施設、介護医療院を除く。)の割合の増加	73.0%	2022	72.0%	2023	73.6%	2024			74%	2028	75%	2033	衛生行政報告例

第3次佐賀県健康プラン目標一覧・モニタリング

基本的な方向性	第3次佐賀県健康プラン目標	ベースライン値	把握年度	モニタリング値	把握年度	モニタリング値	把握年度	モニタリング値	把握年度	中間目標値	把握年度	最終目標値	把握年度	データソース
4 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり														
ア こども														
	①運動やスポーツを習慣的にしていないこどもの割合の減少(再掲) 1週間の総運動時間(体育授業除く。)が60分未満の児童(小学5年生女子)の割合	14.7% (参考) 小学5年生男子7.7%	2022	17.4% (参考) 小学5年生男子9.2%	2023	17.3% (参考) 小学5年生男子10.5%	2024			減少傾向へ	2028	減少傾向へ	2033	全国体力・運動能力、運動習慣等調査
	②小学5年生の肥満傾向児の割合の減少(再掲)	10.92% 男子 14.37% 女子 7.24%	2021	10.99% 男子11.21% 女子10.74%	2022	11.59% 男子15.35% 女子 7.70%	2023			減少傾向へ	2027	減少傾向へ	2032	学校保健統計調査
イ 高齢者														
	①低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加の抑制(再掲)	18.4%	2020							15%未満	2027	13%未満	2032	県民健康意識調査
	②ロコモティブシンドロームの減少(足腰に痛みのある高齢者の減少)65歳以上人口千人当たり(再掲)	228人	2022							220人	2025	210人	2031	国民生活基礎調査
	③社会活動を行っている高齢者の増加(再掲)	86.0% 男性 90.5% 女性 82.6%	2024							増加傾向	2028	ベースライン値から10%の増加	2032	国民健康・栄養調査(生活習慣調査)
ウ 女性														
	①20~39歳女性のやせ(BMI18.5未満)の割合の減少(再掲)	14.8%	2020							現状維持	2027	現状維持	2032	県民健康意識調査
	②骨粗鬆症検診受診率の向上(再掲)	6.3%	2020	7.0%	2022					10%	2026	15%	2032	地域保健・健康増進事業報告
	③妊婦の飲酒をなくす(再掲)	0.9%	2021	0.7%	2022	0.7%	2023			0%	2027	0%	2032	こども家庭庁母子保健課調査
	④妊婦の喫煙をなくす(再掲)	2.2%	2021	1.9%	2022	1.9%	2023	1.6%	2024	0%	2027	0%	2032	こども家庭庁母子保健課調査